


## 観光社会資本の事例

テーマ	金魚のミニ水族館と新塘水路
【施設の状況写真】	
	
<p>日本で唯一の金魚の水族館がある「金魚の館」を中心とした「金魚と鯉の郷広場」が平成7年春にオープンしました。</p>	<p>下水道事業として処理水の再利用を図り、雨水幹線の構造に工夫を加えた。</p>
【施設の利用写真】	
	<p>去る5月3日(火)金魚と鯉の郷広場にて「第10回九州金魚すくい選手権大会」が開催されました。小・中学生の部185名、一般の部188名の参加者があり、8月21日(日)に奈良県大和郡山市で開催される全国大会へのキップを目指し白熱した大会となりました。優勝(小・中学生の部17匹、一般の部29匹)という例年を上回る高記録が出され、会場は熱気に包まれていました。</p>
<p>この他にも金魚すくい大会と同時期に開催される、『火の国長洲金魚まつり』と10月下旬に開催される『金魚と鯉の郷まつり』のふたつのイベントがあります。</p>	
【観光資源としての利用状況】	
<p>金魚と鯉の郷広場は、長洲町住民の憩いの場として多くの家族づれに利用されており、たくさんの金魚の種類を見ることができる『金魚の館』と子供達が実際金魚の飼育されている場所を見学できる『長洲きんぎょ村』があります。</p>	
<p>様々なイベント等を通じて地域おこしグループや各種団体とタイアップして『長洲町の観光資源』としての利用を進めています。</p>	

テーマ	金魚のミニ水族館と新塘水路
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 新塘水路(浦川第三雨水幹線)</p> <p>所在地 熊本県玉名郡長洲町大字長洲3150番地</p> <p>事業名 アメニティモデル事業</p> <p>事業主体 熊本県長洲町</p> <p>事業期間 平成5年度～平成9年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>新塘水路(浦川第三雨水幹線)は、晴天時には水がなく生活排水により悪臭を放ち、荒れ放題の状態であったが、アメニティモデル事業による処理水の再利用によって、水路に工夫を加えることができました。</p> <p>又、隣接する場所に活性化対策として、地域づくり推進事業(金魚と鯉の郷広場)の整備がなされたことにより子供達の遊び場や朝夕の散歩路として地域住民に憩いのスペースを提供しており、年間約20万人が訪れます。</p>	
<p>【位置図】</p> <p>「金魚と鯉の郷」へのアクセス</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>【関連ホームページ】 <a href="http://www.town.nagasu.kumamoto.jp/">http://www.town.nagasu.kumamoto.jp/</a></p>	

